

かがやく渋谷

渋谷の責任ある政党として

安全・安心な生活を力強く推進！ 自民党議員団は全力で取り組みます

区の独自通園事業を開始します！

未来を見据えた「人づくり」

さちのこ通園

令和六年度第三回定例会（会期、九月十七日～十月十七日）では、令和五年度会計の歳入歳出決算の認定を行いました。また、本年度の補正予算を議決しました（第二号、第三号）。これにより、未来を担う子供たちの保育の充実によるひとつづくりと、長期的な視点で必要な住みよいまちづくりをさらに推進します。

まず、ひとつづくりの施策として、保護者の就労の有無にかかわらず未就学児を保育所などで定期的に預かる「ちよこつと通園」事業を本年十一月から開始します。

国の施策である誰でも通園制度を、渋谷区独自の視点も加えて実施するものです。これまで就労状況により条件を満たせず、保育園などに子どもを預けることができなかった保護者の方々が時間単位で柔軟に預けられるようになります。



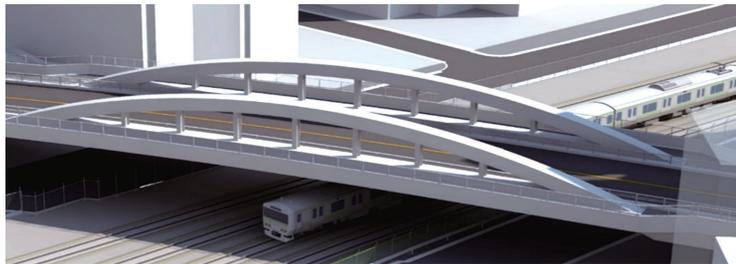
具体的には、一日最大8時間までの利用で、月8回まで利用できます。保護者にとって保育サービスの支援が広がるとともに、子どもたちにとっては、集団生活の中で様々な体験をしながら社会性が育まれることが期待されます。

「まちづくり」を推進

猿楽橋かけ替え

そして、まちづくりとして、猿楽橋かけ替え事業が本格化します。渋谷駅付近の幹線道路を結ぶJRの線路にかかる猿楽橋は、竣工してから90年が経過し、老朽化や耐震性の確保が必要とされています。これを受けて、令和二年度に決定された「猿楽橋長期計画」に沿って、現在は橋の前後区間にある擁壁やトンネルなどの更新工事を実施しているところですが、

工事期間は10年を超える予定です。近隣の区民の皆様にとっては長期にわたり生活動線が大きく影響をけるとともに、さらなる交通渋滞による周辺環境の悪化が懸念されます。区は近隣の皆様向けに説明会の開催を行っていますが、今後も警察と連携しながら迂回路の整備と近隣への周知を徹底して行い、地域住民の利便性が著しく損なわれないよう関係各所に引き続き要望してまいります。



● 12月より神宮前三丁目に障がい者施設がオープン！



2024年12月1日、渋谷区神宮前三丁目（原宿キャットストリート沿い）にオープンする障がい（児）者施設「りばあさいど原宿」

建物には地上4階、地下1階建てで、重症心身障がいのある人や医療的ケアを要する人を含む身体障がい（児）者を主な利用対象とする通所・短期入所事業、診療所、カフェ、会議室およびプールを整備します。

施設の開設にあたっては、障がい者団体連合会からのご要望をはじめ、必要な機能やサービス等について区内の施設運営者や障がい者のご家族等、当事者の声を検討段階からしっかりと取り入れながら準備してきました。

運営事業者は社会福祉法人睦月会で、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、機能訓練などを提供する多機能型施設です。

その他、現在渋谷区内で1か所しか提供できていない緊急一時を含む短期入所も提供するなど、区内でニーズの高まる障がい者福祉に関し、隣接する「はあとびあ原宿」とともに中核的な役割を果たす施設となります。